

ジュニア防災リーダー（中学生） - 早稲田学区 防災まち歩き -

開催日時：令和6年5月3日（日）9:00～12:00

実施場所：早稲田学区内一帯

参加者：ジュニア防災リーダー2名（中学生）、わせだ自主防3名、保護者ほか2名

ジュニア防災リーダー（中学生）の令和6年度最初の研修活動として、早稲田学区内のまち歩きを行い、過去の被災地や災害の危険性といった地域の特徴、防災に関する様々な施設と設備などを直接みながら確認しました。

1. ローソン女学院大学前店の確認

- ・ローソンで販売している物の中から、災害時に使える物を確認
- ・ローリングストックで使える物や意外な目的で使用できる物を解説



ローソンで防災で使える物を確認

2. 平成30年7月豪雨での被災地と防災施設の見学

- ・平成30年7月の西日本豪雨で被災した土石流現場を見学
- ・広島女学院大学敷地内の災害で損壊した水路の被災状況を確認
- ・災害後に建設された治山えん堤を見学し、施設の機能を解説



広島女学院大学の奥に建設された治山えん堤

3. わせだ防災拠点プロジェクトの現場見学

- ・早稲田学区で進むわせだ防災拠点プロジェクトを解説
- ・牛田東第3公園に地域で設置したかまどベンチを見学
- ・早稲田公民館などその他の拠点施設の機能を解説



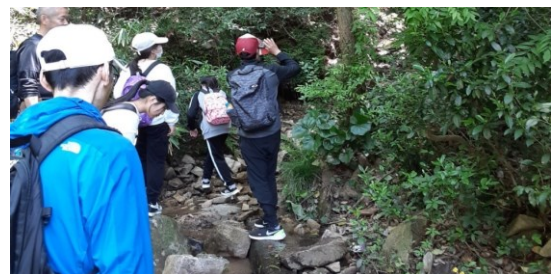
牛田東第3公園のかまどベンチを見学

4. 早稲田中学校周辺の施設などの見学

- ・早稲田中学校の近くの調整池について機能を確認
- ・中学校へ上がる道路の脇にある隠れ治山えん堤とその必要性を確認

5. 牛田早稲田2丁目の土石流危険渓流の見学

- ・早稲田学区内で最も被害が大きいと想定されている土石流危険渓流を見学し、土砂災害の危険性と必要な備えを解説



牛田早稲田2丁目の危険渓流の見学

6. 平成30年7月豪雨のがけ崩れ現場の見学

- ・平成30年7月の西日本豪雨で被災したがけ崩れの現場を見学



がけ崩れの被災場所をバックに記念撮影

ジュニア防災リーダーの感想

- 早稲田学区にもまだ知らない事や場所があると感じました。危険な場所の対策が進んでいることも分かりました。
- 早稲田学区で危険な災害の事とそれに対する工夫が分かりました。自分で対応できること、自分だけでは対応できないこともあることが分かり驚きました。

わせだ自主防
ジュニア防災リーダー 防災まち歩き 移動マップ

到着時刻	出発時刻	場所・説明内容
9:00	9:10	①ローソン女学院大学前店 (集合)
(↓移動700m)		・ 予定説明、お店で調達可能な物資の確認
9:25	9:35	②平成30年7月西日本豪雨 土石流現場
(↓移動600m)		・ 土石流災害の特徴、治山えん堤の役割
9:50	9:55	③平成30年7月西日本豪雨 水路損壊場所
(↓移動600m)		・ 大雨の時の水路の危険性
10:05	10:10	④早稲田公民館
(↓移動30m)		・ 避難所としての拠点、調整池の機能
10:10	10:25	⑤牛田東第3公園 <休憩ポイント>
(↓移動500m)		・ 防災公園としての整備(わせだ防災拠点プロジェクト)
10:35	10:40	⑥中学校近くの治山えん堤
(↓移動150m)		・ 通学路での災害の危険性、大学からの避難ルート
10:45	10:50	⑦牛田早稲田第3公園
(↓移動500m)		・ 大規模盛土による地震災害の危険性
11:00	11:05	⑧牛田早稲田4丁目の治山えん堤
(↓移動300m)		・ 小学校近くでの土石流災害の危険性
11:10	11:20	⑨牛田早稲田第1公園 <休憩ポイント>
(↓移動700m)		
11:35	11:45	⑩牛田早稲田2丁目の治山えん堤
(↓移動400m)		・ 土石流災害の危険性
11:55	12:00	⑪平成30年7月西日本豪雨 かけ崩れ災害箇所
		解散
		移動距離 4,480m

